

国家基本政策委員会合同審査会ニュース

平成 28.12.7 第 192 回国会第 1 号

12 月 7 日（水）、第 1 回の合同審査会が開かれました。

1 国家の基本政策に関する件

・蓮舫君（民進）、志位和夫君（共産）及び片山虎之助君（維新）が、安倍内閣総理大臣と討議を行いました。

（討議者及び主な討議内容）

蓮 舫君（民進）

- ・刑法で賭博が禁じられており、ギャンブル依存症の対応等様々な懸念があるにも関わらず、なぜカジノを解禁する「IR 法案」を強引に通そうとするのか。
- ・カジノは賭博に負けた人の掛け金が収益になるもので、ものづくりやサービス業のように新たな付加価値を生むものではないのに、なぜカジノを成長産業と言えるのか。
- ・働き方改革を目指すのであれば、民進党などが共同で提出している「長時間労働規制法案」を審議入りさせてほしい。

志 位 和 夫 君（共産）

- ・南スーダンの国連平和維持活動（PKO）に参加する陸上自衛隊施設部隊に新任務「駆け付け警護」を付与したことにより、南スーダン政府軍に対して自衛隊が武器を使用することとなる危険性に対する認識を伺いたい。

片 山 虎 之 助 君（維新）

- ・TPP 発効の見込みと発効できなかった場合への対応を伺いたい。
- ・プーチン・ロシア大統領が言及した北方領土の共同経済活動と総理が提案した経済分野の協力プランとの相違点について伺いたい。
- ・本年 12 月 15 日予定の日露首脳会談を出発点として、息長く国民の意向を踏まえて日露交渉を行うことがより良いと思うが、見解を伺いたい。